平成27年度 花園中学校 経営方針

1 めざす子ども像

夢とこころざしをもち、
まごころと思いやりのある花中生

2 学校教育目標

心を磨く生徒
真摯に学ぶ生徒
体を鍛える生徒

「立志と忠恕」を基軸に、「時を守り・場を清め・礼を正す」を実践し、花と緑の良好な環境の中で「あいさつ日本一」を目指して教育活動に取り組みます。

3 学習指導要領の観点から

(1) 生きる力の育成を行います。

基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などの「生きる力」を育成します。

(2) 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスをとります。

基礎的・基本的な知識・技能の習得を重視するとともに、観察・実験やレポートの作成、論述など知識・技能の活用を図る学習活動を充実します。

また、これらの基盤となる言語に関する能力、主体的に学習に取り組む態度、家庭学習の習慣等を身に付けます。

(3) 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成します。

道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行います。

体力向上に関する指導の充実を図ること、心身の健康に関する指導をすること、花育・食育の推進や安全に関する指導を進め、豊かな心や健やかな体を育成します。

4 学校教育目標具現化方法

(1) 職員総意の花園中・教育公約を作成し、学校教育目標の達成を図ります。

①前年度の学校評価や教育公約評価を基に、職員総意の花園中・教育公約を作成します。

②学年目標や学級目標に花園中・教育公約を位置づけ具現化を図ります。

③自己申告シートに花園中・教育公約を位置づけ具現化を図ります。

(2) 組織の改善方式として組織マネジメントの手法を教育全般に生かします。

Research Plan Do Check Action

①学校評価において組織マネジメントの手法を取り入れ改善を図ります。

②花園中・教育公約評価で組織マネジメントの手法を取り入れ改善を図ります。

③教育活動全般に組織マネジメントの手法を取り入れ改善を図ります。

(3) 開かれた学校づくりを推進し、地域から信頼される学校を構築します。

①学校応援団体制を発展させ、自治会・民生委員会・公民館活動等との連携強化を図ります。

②学校だより・PTA広報・ホームページ等の充実を図り、高品位の情報提供に努めます。

5 教師の本分

浦和明の星学園理事長であったアンリエット・カンティン女史のことばに「先生方あなた方はこの世で一番大切な仕事をしているのです。」ということばがあります。

教師によって、子どもたちの人生は左右されます。子どもたちの人生にかかわる仕事だから一番大切な仕事なのです。教師自らが教育者としての品格を持ち、慈愛を持って生徒に接する事が常に求められます。親子の愛情にも匹敵する師弟関係を構築し、教師が生徒の良き手本となり、望ましい方向に感化したいものです。